

**「産科医療の質の向上への取組みの動向」の
各テーマに関する再発防止委員会および各関係学会・団体等の動き^{注)}**

「産科医療の質の向上への取組みの動向」の各テーマ（子宮収縮薬、新生児蘇生、胎児心拍数聴取、診療録等の記載）に関する再発防止委員会および関係学会・団体等の動きを下表に整理した。なお、各テーマの関連事項がない箇所は表内の背景色を変更している。

年	月	再発防止委員会	関係学会・団体等
2007	7		<p>新生児蘇生</p> <p>日本周産期・新生児医学会が、新生児蘇生法委員会を組織し、新生児蘇生法普及事業を開始、「新生児蘇生法講習会」を運営</p>
2008	4		<p>子宮収縮薬</p> <p>日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会が、CQ404の解説に「陣痛促進薬の使用法」を掲載した「産婦人科診療ガイドライン—産科編2008」を発刊</p>
2009	12		<p>胎児心拍数聴取 診療録等の記載</p> <p>日本助産師会が、胎児心拍数聴取に関連する「正常分娩急変時のガイドライン」、記録の記載に関連する「記録に関する留意事項」を掲載した「助産所業務ガイドライン2009年改訂版」を発刊</p>
2011	1		<p>新生児蘇生</p> <p>日本周産期・新生児医学会が、「改訂第2版日本版救急蘇生ガイドライン2010に基づく新生児蘇生法テキスト」を発刊</p>
	3		<p>子宮収縮薬 新生児蘇生 胎児心拍数聴取</p> <p>日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会が、新生児蘇生に関連するCQ801、胎児心拍数聴取に関連するCQ410、CQ411、巻末に「子宮収縮薬による陣痛誘発・陣痛促進に際しての留意点：改訂2011年版」を掲載した「産婦人科診療ガイドライン—産科編2011」を発刊</p>
	8	<p>子宮収縮薬 新生児蘇生 胎児心拍数聴取</p> <p>第1回再発防止に関する報告書を発行</p>	
	10		<p>新生児蘇生</p> <p>日本蘇生協議会・日本救急医療財団が、新生児蘇生法（NCPR）アルゴリズムを掲載した「JRC蘇生ガイドライン2010」を発刊</p>
2012	5	<p>診療録等の記載</p> <p>第2回再発防止に関する報告書を発行</p>	
2013	5	<p>子宮収縮薬 新生児蘇生 胎児心拍数聴取</p> <p>第3回再発防止に関する報告書を発行</p>	
2014	3		<p>新生児蘇生 胎児心拍数聴取 診療録等の記載</p> <p>日本助産師会が、新生児蘇生および胎児心拍数聴取に関連する「正常分娩急変時のガイドライン」、新生児蘇生、胎児心拍数聴取および記録の記載に関連する「医療安全上留意すべき事項」を掲載した「助産業務ガイドライン2014」を発刊</p>

年	月	再発防止委員会	関係学会・団体等
2014	4		<p>子宮収縮薬 新生児蘇生 胎児心拍数聴取</p> <p>日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会が、子宮収縮薬に関連するCQ415-1～CQ415-3、新生児蘇生に関連するCQ801、胎児心拍数聴取に関連するCQ410、CQ411を掲載した「産婦人科診療ガイドライン—産科編2014」を発刊、CQ411「分娩中のレベル3・4が持続する場合の対応」の推奨レベルをCからBに変更</p>
		<p>新生児蘇生</p> <p>第5回再発防止に関する報告書を発行</p>	
2015	7		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、文書「適正使用に関するお願い」をホームページに掲載</p>
	8		<p>子宮収縮薬 新生児蘇生 胎児心拍数聴取 診療録等の記載</p> <p>日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会・全国助産師教育協議会・日本助産評価機構がCLoCMiP（助産実践能力習熟段階）レベルⅢ認証制度を創設し、日本助産評価機構が認証を開始、必須研修項目に「臨床薬理（妊娠と薬）」、「新生児蘇生法（NCPR）Bコース以上」、「分娩期の胎児心拍数陣痛図（CTG）」、「医療安全と助産記録」を設定</p>
2016	2		<p>新生児蘇生</p> <p>日本蘇生協議会が、新生児蘇生法（NCPR）アルゴリズムを掲載した「JRC蘇生ガイドライン2015」を発刊</p>
	4		<p>新生児蘇生</p> <p>日本周産期・新生児医学会が、「日本版救急蘇生ガイドライン2015に基づく新生児蘇生法テキスト第3版」を発刊</p>
	6		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、改訂文書「使用上の注意」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、改訂文書「使用上の注意」をホームページに掲載</p>
2017	4		<p>子宮収縮薬 新生児蘇生 胎児心拍数聴取</p> <p>日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会が、子宮収縮薬に関連するCQ415-1～CQ415-3、新生児蘇生に関連するCQ801、胎児心拍数聴取に関連するCQ410、CQ411を掲載した「産婦人科診療ガイドライン—産科編2017」を発刊</p>

年	月	再発防止委員会	関係学会・団体等
2017	8		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、文書「適正使用に関するお願い」をホームページに掲載</p>
2018	3	<p>胎児心拍数聴取</p> <p>第8回再発防止に関する報告書を発行</p>	
	12		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、文書「適正使用に関するお願い」をホームページに掲載</p>
2019	3	<p>胎児心拍数聴取</p> <p>第9回再発防止に関する報告書を発行</p>	
	6		<p>新生児蘇生 胎児心拍数聴取 診療録等の記載</p> <p>日本助産師会が、新生児蘇生および胎児心拍数聴取に関連する「正常分娩急変時のガイドライン」、新生児蘇生、胎児心拍数聴取および記録の記載に関連する「医療安全上留意すべき事項」を掲載した「助産業務ガイドライン2019」を発刊</p>
	12		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、文書「適正使用に関するお願い」をホームページに掲載</p>
2020	3	<p>胎児心拍数聴取</p> <p>第10回再発防止に関する報告書を発行</p>	
	4		<p>子宮収縮薬 新生児蘇生 胎児心拍数聴取</p> <p>日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会が、子宮収縮薬に関連するCQ415-1～CQ415-3、新生児蘇生に関連するCQ801、胎児心拍数聴取に関連するCQ410、CQ411を掲載した「産婦人科診療ガイドライン—産科編2020」を発刊、CQ411推奨レベルB「胎児健常性が阻害されていると判断する所見」として「サイナソイダルパターン」を掲載</p>
	12		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、文書「適正使用に関するお願い」をホームページに掲載</p>

年	月	再発防止委員会	関係学会・団体等
2021	4		<p>新生児蘇生</p> <p>日本周産期・新生児医学会が、「日本版救急蘇生ガイドライン2020に基づく新生児蘇生法テキスト第4版」を発刊</p>
	6		<p>新生児蘇生</p> <p>日本蘇生協議会が、新生児蘇生法（NCPR）アルゴリズムを掲載した「JRC蘇生ガイドライン2020」を発刊</p>
2022	1		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、文書「適正使用に関するお願い」をホームページに掲載</p>
	3	<p>新生児蘇生</p> <p>第12回再発防止に関する報告書を発行</p>	
	12		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、文書「適正使用に関するお願い」をホームページに掲載</p>
2023	3	<p>子宮収縮薬</p> <p>第13回再発防止に関する報告書を発行</p>	
	8		<p>子宮収縮薬 新生児蘇生 胎児心拍数聴取</p> <p>日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会が、子宮収縮薬に関連するCQ415-1～CQ415-3、新生児蘇生に関連するCQ801、胎児心拍数聴取に関連するCQ410、CQ411を掲載した「産婦人科診療ガイドライン—産科編2023」を発刊</p>
	11		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、文書「適正使用に関するお願い」をホームページに掲載</p>
2024	12		<p>子宮収縮薬</p> <p>子宮収縮薬を販売する製薬会社4社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 子宮頸管熟化薬を製造・販売する製薬会社2社が、医療従事者に対し、文書「適正使用に関するお願い」を发出 医薬品医療機器総合機構（PMDA）が、文書「適正使用に関するお願い」をホームページに掲載</p>

年	月	再発防止委員会	関係学会・団体等		
			新生児蘇生	胎児心拍数聴取	診療録等の記載
2025	1		日本助産師会が、新生児蘇生、胎児心拍数聴取に関連する「正常分娩急変時のガイドライン」、新生児蘇生、胎児心拍数聴取および記録の記載に関連する「医療安全上留意すべき事項」を掲載した「助産業務ガイドライン2024」を発刊		
	6	子宮収縮薬 第15回再発防止に関する報告書を発行			

注) 第16回再発防止に関する報告書作成時点の情報を掲載している。